

July

コロニーやまがた

2025.7

No.23

ドキュメント
スキャナ

B型コロニーセンター活動状況

国立国会図書館
書籍等電子化

A型山形福祉工場活動状況

図面等
大型書類
スキャンニング
(A1サイズ)

INDEX

- 02 ごあいさつ
- 03 デジタルハイツ山形完成セレモニー
- 04 令和6年度事業報告・決算報告
- 05 令和7年度事業計画
- 06 各事業所の活動紹介
- 08 アビリンピックやまがた2025
- 09 仲間たちの声／人権を考える
- 10 SOMPOケア山形開催「子ども食堂&バザー」
年間予定報告／編集後記

COLONY YAMAGATA

令和7年度あいさつ



理事長
須貝 壽一

新しい年度を迎え、日頃よりご支援くださる皆さまへ、心より感謝を申し上げます。

時代は確実に変わっています。物価、人手、制度、価値観——これまで当たり前だったものが、静かに、しかし確実に揺らぎはじめています。こうした中で福祉の現場に立つ私たちは、これまで通りでは通用しない、という現実と向き合わざるを得ません。

では、どうするのか。

答えは、足元にあると思っています。日々の現場に、目の前の一人ひとりに、そして、支える側である私たち自身の在り方に。

ただ業務をこなすのではなく、支援とは何かを問い直しながら、一つひとつの仕事に意味を持たせていく。そこにこそ、「働くこと」「共に生きること」の本質があると信じています。

今年度、私たちはもう一度、原点に立ち返ります。「誰のために、何のために、この仕事をしているのか」。その問いを、職員一人ひとりが胸に刻みながら、一歩ずつ前に進んでいく。そんな組織でありたいと思います。

今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和6年度事業報告と令和7年度の事業計画の要点

常務理事
鈴木 宏

令和6年度は、物価高騰や従業員確保・定着等に大きな課題を感じた1年でした。経営面では、就労支援事業収益が前年比450万円のプラス、福祉事業収益は750万円のマイナスと福祉事業で苦戦しました。主な要員は、移行支援の利用者確保と、共働き社会となり親子通所型療育の利用率を高められなかったことです。

全体的には、費用のマイナスもあり当期活動増減差額は358万円と若干のプラスとなりました。費用のマイナスは人件費が大きく、計画配置に困難があったことの現れであり、手放しでは喜べない結果と言えます。

これらの課題は次の傾向と対策に活かし、令和7年度の事業計画を立てました。

1点目は、就労支援事業を頑張ります。特に、昨年度日本財団の支援を受け追加整備したデジタル化事業の事業振興を進め、働きがいやA型山形福祉工場の雇用維持、B型コロニーセンターの工賃向上等をより一層進めます。また、移行支援もデジタル化での協働を進め、高工賃を新たな特色とした移行支援事業所を地域に発信します。2点目は、時代と共にコロニー

も働く集団から、支援者集団に傾きつつある中、組織や職員が事業経営の観点を高める取り組みを進め、改めて共に働く職場の重要性を認識し、「働くも、支援も」をセットで高められる組織づくりを進めます。3点目は、地域に貢献し、喜ばれ、選ばれるコロニーを共に切磋琢磨して築いていきます。特に、当法人施設を活用いただいていた桜田南町内会の事業やいきいきサロン、または近隣の介護事業所の子ども食堂等の企画など、今後も地域の皆さまとの繋がりを大切にし、地域の福祉向上に貢献できる法人を目指し、従業員一同、共に努力してまいります。

今年度も、コロニーを引き続き「愛顧いただけますよう、何卒よろしく」お願い申し上げます。





「デジタルハイツ山形」完成セレモニーを開催しました

山形福祉工場 営業課長 加藤 一平

2025年5月20日、山形県コロニー協会敷地内にて、「デジタルハイツ山形」の完成セレモニーを開催いたしました。式典には、山形県知事 吉村美栄子様、山形市長 佐藤孝弘様、日本財団理事長 尾形武寿様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席いただき、盛大に執り行われました。

「デジタルハイツ山形」は、障害のある方々が国立国会図書館蔵書などのデジタル化作業を通じて共に働く、新しい就労支援の拠点です。かつて福祉ホームだった建物を、日本財団の助成により改修し、作業環境や設備を整え、地域にも開かれた施設として生まれ変わりました。

式典では、ご来賓の皆様より心温まる祝辞を頂戴し、施設の意義と可能性への期待を感じる場となりました。式後には見学会を行い、最新機器を備えた作業スペースをご案内。参加者の皆様から高い関心を寄せていただきました。

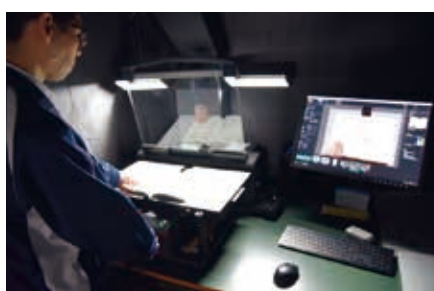
記念品として、コロニーベーカーリー製の紅白あんぱんをお渡しし、感謝の気持ちをお伝えしました。今後とも本施設が、障害のある方々の活躍の場として発展していけるよう、一層努力してまいります。



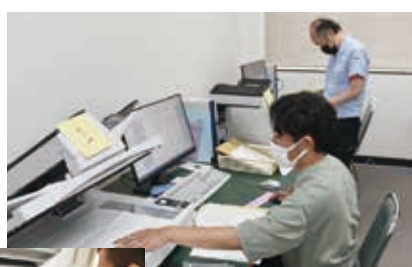
施設内覧会の様子



ご来賓の皆様と集合写真



ブックスキャナ



ドキュメントスキャナ



A1フラットスキャナ



コロニーベーカーリー製「紅白あんぱん」

広告

その紙 眠らせていませんか？

文書の電子化で

探す時間ゼロ
保管スペース
ゼロへ!!



検索がラク

キーワードで
すぐに見つかる



保管スペース
削減

紙をスキャンして
スッキリ



セキュリティ
対策

電子化で
安心の管理体制

各種文書、ポスター、A1サイズ図面、軸装などの大判、ポジ・ネガフィルム、カセットテープ音源、VHS映像…なんでも電子化します

山形福祉工場はプライバシーマーク取得事業所です。
契約書や顧客情報など機密性の高い文書を安全に取扱います。

E-mail fuku-info@yamagata-colony.or.jp

ご相談・お見積りお気軽にご連絡ください

山形福祉工場(コロニー印刷)
TEL 023-642-1136

社会福祉法人山形県コープ協会
令和6年度 事業報告

当法人の今年度事業で特筆すべきはデジタル化事業の追加機器整備事業である。障害者の雇用等を守り、サービス利用のみで働く障害者も含めた所得向上に繋げるための強化整備を日本財団の助成を受け実施した。他に、令和5年元旦に発生した能登半島沖地震の復興は未だ深刻な状況が続いているが、当法人から2名の職員をゼンコロとしてJDF支援センターに派遣し、福祉従事者として日常とは異なる価値に触れ、学びを得た。いずれも、働く、暮らすという障害当事者の福祉の向上を中心に据えた事業であり今年度事業の中でも、特に意義の高い活動と言える。

経営面では、厳しい状況下であったが何とか法人全体で黒字の着地ができた。就労支援事業は横ばいで我慢が続いている。福祉事業は、移行支援等の短期利用型の流動性の高い事業の波の振幅を、継続型の安定事業が均している状況であり、利用率を高める努力と工夫を行ってきたが、改めて日割り給付制度の経営の難しさを痛感させられた。今後の経営戦略を考える上でも、就労支援事業収益を伸ばし、福祉事業収入を引っ張り上げていく考え方が重要である。

法人単位資金収支計算書

(自)令和6年4月1日(至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	205,250,000	196,625,990	8,624,010
	障害福祉サービス等事業収入	373,155,000	367,195,361	5,959,639
	経常経費寄附金収入		158,000	△ 158,000
	受取利息配当金収入		98,458	△ 98,458
	その他の収入	16,140,000	18,020,655	△ 1,880,655
	事業活動収入計(1)	594,545,000	582,098,464	12,446,536
	支出			
	人件費支出	282,639,000	278,607,006	4,031,994
	事業費支出	22,556,000	19,686,998	2,869,002
施設整備等による収支	事務費支出	72,739,000	65,864,597	6,874,403
	就労支援事業支出	203,709,000	190,573,384	13,135,616
	支払利息支出	950,000	886,375	63,625
	その他の支出	890,000	655,973	234,027
	事業活動支出計(2)	583,483,000	556,274,333	27,208,667
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	11,062,000	25,824,131	△ 14,762,131
	施設整備等補助金収入	107,089,000	107,089,999	△ 999
	施設整備等収入計(4)	107,089,000	107,089,999	△ 999
	設備資金借入金元金償還支出	5,004,000	5,004,000	0
	固定資産取得支出	113,619,000	113,083,444	535,556
その他の活動による収支	施設整備等支出計(5)	118,623,000	118,087,444	535,556
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 11,534,000	△ 10,997,445	△ 536,555
	積立資産取崩収入	24,890,000	24,890,000	0
	その他の活動による収入		40,000	△ 40,000
	その他の活動収入計(7)	24,890,000	24,930,000	△ 40,000
	その他の活動による支出	8,113,000	8,112,500	500
	その他の活動支出計(8)	8,113,000	8,112,500	500
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	16,777,000	16,817,500	△ 40,500
	予備費支出(10)		—	—
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	16,305,000	31,644,186	△ 15,339,186
前期末支払資金残高(12)		273,758,982	273,758,982	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		290,063,982	305,403,168	△ 15,339,186

法人単位事業活動計算書

(自)令和6年4月1日(至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	児童福祉事業収益		1,203,070	△ 1,203,070
	就労支援事業収益	196,625,990	192,097,849	4,528,141
	障害福祉サービス等事業収益	367,195,361	374,768,527	△ 7,573,166
	経常経費寄附金収益	158,000	123,000	35,000
	サービス活動収益計(1)	563,979,351	568,192,446	△ 4,213,095
	費用			
	人件費	277,966,006	300,530,284	△ 22,564,278
	事業費	19,686,998	21,174,262	△ 1,487,264
	事務費	65,864,597	64,335,742	1,528,855
サービス活動外増減の部	就労支援事業費用	195,340,432	199,712,048	△ 4,371,616
	減価償却費	22,577,628	26,431,806	△ 3,854,178
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 6,377,376	△ 4,923,191	△ 1,454,185
	徴収不能引当金繰入	322,400	191,400	131,000
	サービス活動費用計(2)	575,380,685	607,452,351	△ 32,071,666
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 11,401,334	△ 39,259,905	27,858,571
	収益			
	受取利息配当金収益	98,458	3,360	95,098
	その他のサービス活動外収益	18,020,655	18,430,611	△ 409,956
	経常経費補助金等収益	16,358,921	16,478,910	△ 119,989
特別増減の部	サービス活動外収益計(4)	18,119,113	18,433,971	△ 314,858
	費用			
	支払利息	886,375	794,155	92,220
	その他のサービス活動外費用	655,973	434,511	221,462
	サービス活動外費用計(5)	1,542,348	1,228,666	313,682
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	16,576,765	17,205,305	△ 628,540
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	5,175,431	△ 22,054,600	27,230,031
	収益			
	施設整備等補助金収益	107,089,999	1,049,400	106,040,599
	施設整備等寄附金収益		218,000	△ 218,000
繰越活動増減差額の部	固定資産売却益		109,999	△ 109,999
	その他の特別収益	191,400	282,660	△ 91,260
	特別収益計(8)	107,281,399	1,660,059	105,621,340
	費用			
	固定資産売却損・処分損	1,783,193	1	1,783,192
	国庫補助金等特別積立金積立額	107,089,999	1,049,400	106,040,599
	特別費用計(9)	108,873,192	1,049,401	107,823,791
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1,591,793	610,658	△ 2,202,451
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,583,638	△ 21,443,942	25,027,580
	前期繰越活動増減差額(12)	335,626,550	357,070,523	△ 21,443,973
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		339,210,188	335,626,581	3,583,607
基本金取崩額(14)				
その他の積立金取崩額(15)		24,890,000		24,890,000
その他の積立金積立額(16)			31	△ 31
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		364,100,188	335,626,550	28,473,638

法人単位貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	442,938,224	流動負債	147,693,996
現金預金	197,607,439	事業未払金	126,131,368
事業未収金	55,726,093	その他の未払金	4,585,373
未収金	21,729	1年以内返済予定設備資金借入金	5,004,000
未収補助金	105,710,000	未払費用	1,005,912
未収収益	73,169,929	預り金	297,403
仕掛品	1,656,300	職員預り金	824,940
原材料	3,356,160	賞与引当金	9,845,000
立替金	4,391,738		
前払金	0		
前払費用	1,621,236		
徴収不能引当金	△ 322,400		
固定資産	552,672,170	固定負債	96,840,722
基本財産	232,168,012	設備資金借入金	64,972,000
土地	76,997,713	退職給付引当金	31,868,722
建物	155,170,299	負債の部合計	244,534,718
その他の固定資産	320,504,158	純資産の部	
土地	9,356,400	基本金	164,628,946
建物	74,614,415	第1号基本金	164,628,946
構築物	9,202,422	国庫補助金等特別積立金	170,101,553
機械及び装置	31,673,375	その他の積立金	52,244,989
車両運搬具	2,826,861	修繕積立金	3,276,153
器具及び備品	93,500,042	備品等購入積立金	12,712,836
ソフトウェア	3,478,778	工資変動積立金	36,256,000
投資有価証券	25,000	次期繰越活動増減差額	364,100,188
退職給付引当資産	31,868,722	(うち当期活動増減差額)	3,583,638
修繕積立資産	3,276,153		
備品等購入積立資産	12,712,836		
工資変動積立資産	36,256,000		
差入保証金	2,508,000		
長期前払費用	7,995,544		
定期預金	1,000,000		
預託金	209,610		
資産の部合計	995,610,394	純資産の部合計	751,075,676
		負債及び純資産の部合計	995,610,394

社会福祉法人山形県コープ協会
令和7年度 事業計画

【重点計画】

- ① 就労継続支援事業A型の売上向上と収支改善（印刷事業、デジタル化事業）
- ② デジタル化事業の追加整備機器の需要開拓と稼働のための自主営業展開の実施
- ③ 経営状況の月次管理体制の実施（全事業）と、経営マネジメント強化（管理職）
- ④ 感染症等対策の徹底の継続
- ⑤ 事業継続計画や虐待防止、個人情報管理等の管理機能向上と職員教育の実施
- ⑥ 信頼され、選択される事業所の新たな特色づくりと、利用者・利用率の確保
- ⑦ 職員の人材確保と育成、資質向上
- ⑧ コープライドの醸成と、気持ちよく共に働ける職場づくり
- ⑨ 福祉サービスの新規事業、及びより良い事業のための組織再編等の検討と実施
- ⑩ 地域貢献・交流・連携活動の強化

令和7年度 資金収支予算書(当初予算)

(自)令和7年4月1日(至)令和8年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	246,530,000	211,355,000	35,175,000
	障害福祉サービス等事業収入	380,559,000	373,155,000	7,404,000
	その他の収入	13,880,000	16,140,000	△ 2,260,000
	事業活動収入計(1)	640,969,000	600,650,000	40,319,000
	支出			
	人件費支出	281,811,000	282,639,000	△ 828,000
	事業費支出	22,966,000	22,622,000	344,000
	事務費支出	72,565,000	74,129,000	△ 1,564,000
	就労支援事業支出	230,252,000	211,345,000	18,907,000
施設整備等による収支	支払利息支出	950,000	950,000	0
	その他の支出	665,000	890,000	△ 225,000
	事業活動支出計(2)	609,209,000	592,575,000	16,634,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	31,760,000	8,075,000	23,685,000
	収入			
	施設整備等補助金収入		107,089,000	△ 107,089,000
	施設整備等収入計(4)		107,089,000	△ 107,089,000
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	5,004,000	5,004,000	0
	固定資産取得支出	15,700,000	113,619,000	△ 97,919,000
その他の活動による収支	施設整備等支出計(5)	20,704,000	118,623,000	△ 97,919,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 20,704,000	△ 11,534,000	△ 9,170,000
	収入			
	積立資産取崩収入		24,890,000	△ 24,890,000
	事業区分間繰入金収入	2,400,000	910,000	1,490,000
	拠点区分間繰入金収入	1,400,000	1,805,000	△ 405,000
	サービス区分間繰入金収入	8,290,000	7,320,000	970,000
	その他の活動収入計(7)	12,090,000	34,925,000	△ 22,835,000
	支出			
	事業区分間繰入金支出	2,400,000	910,000	1,490,000
	拠点区分間繰入金支出	1,400,000	1,805,000	△ 405,000
	サービス区分間繰入金支出	8,290,000	7,320,000	970,000
	その他の活動による支出		8,113,000	△ 8,113,000
	その他の活動支出計(8)	12,090,000	18,148,000	△ 6,058,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	16,777,000	△ 16,777,000
	予備費支出(10)			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	11,056,000	13,318,000	△ 2,262,000
	前期末支払資金残高(12)	287,076,982	273,758,982	13,318,000
	当期末支払資金残高(11)+(12)	298,132,982	287,076,982	11,056,000

社会福祉法人山形県コープ協会
役員等の紹介

敬称略

(役員)

理事長 須貝 壽一
常務理事 鈴木 宏
理事 前川 孝子
理事 阿部 和信
理事 鈴木 裕子
理事 松田 昭裕
理事 斎藤 一夫
監事 木口 隆
監事 伊豆田 徹

(評議員)

増川 州宏
小笠原 巖
工藤 雄一
高橋 潔
松本 文男
河合みき子
坂本 政臣
板坂 友昭
鈴木 孝治

各事業所の活動紹介

相談支援

(山形コローニー相談支援センター)

基幹相談支援センタースタート

令和7年4月山形市ではコローニー相談支援センターを含む6事業所が委託相談支援事業所から基幹相談支援センターへと移行しました。

基幹相談支援センターは、地域における障害者支援の総合的な窓口として存在します。その役割は、障がい者やその家族に対する相談支援を行う地域の中核的な機関として

- ① 総合的・専門的な相談支援の実施
- ② 地域の相談支援体制の強化の取組
- ③ 協議会の運営等による地域づくりの取組です。

これまでも皆様の相談に応じ、必要な情報や支援の提供や、相談に来られた方の困り感が少しでも軽くなるようにと各機関と連携してきましたが、これまで以上に地域の中の相談支援として、その責任の大きさを感じているところです。

今後とも一つ一つのケースに丁寧に向き合っていきたいと思えます。(佐藤)

放課後等デイサービス

(山形コローニー シード)

相手の気持ち、

自分の気持ちを理解するために

放課後等デイサービス山形コローニーシードには中高生の方が利用されています。人間関係がより複雑になる思春期。友達や家族、卒業後の就労に向けた同僚や上司との関わりなど、様々な状況を想定したコミュニケーショントレーニングを行っています。コミュニケーションには相手の目を見て、よい姿勢で挨拶をしたり、話を聞いたりする基本的スキルから、相手の気持ちにも配慮しつつ自分の主張もする上級のものまで、様々なスキルが必要とされます。その一つ一つを日頃の活動や、場面を設定してのロールプレイ、時にはゲームなどを通して「今の話し方で相手はどう思うか?」「自分はどうか感じたのか?」など気持ちを確認しながら活動をしています。

(安保)



児童発達支援

(山形コローニー ういる天童)

ういる天童の活動について

6月の土曜開所では、子どもたちとてらる坊主の制作活動を行いました。活動では、大人と一緒に花紙を丸めたり、シールを貼ったりしながら進めました。自分で色を選び、オリジナルのてらる坊主を作り、みんなの前で発表もしました!保護者の皆さんからは、「家に飾ってみます!」という嬉しい声を頂きました!普段から一緒に見たり聞いたり真似してみたりという活動をこのような制作活動や様々な場面で発揮できるよう、これからも取り組んでいきたいと思っています。

(高橋)



放課後等デイサービス

(山形コローニー シード天童)

防災センター見学

シード天童では、土曜開所で防災センター見学を行いました。消火体験、煙体験、地震体験、消防士なりきり体験など様々な体験をさせていただきました。煙体験では、実際に煙が充満した部屋からの避難を体験しました。今回は、避難経路を下見してからの挑戦だったので、何とか出口にたどりつくことができました。慣れない場所、煙の中避難することの難しさを改めて感じることでできました。救急車に乗って中を見学する貴重な体験もでき、子ども達も大興奮でした!防災について学び、親子でいざという時の備えについて考える良い機会となりました。

(板垣)



就労継続支援B型

(山形県コローニセンター)

「いざー！実践販売！」

完売目指して

5/24(土)三ツ山YAMAGATAマルシェにコローニベーカリーとして出店いたしました。多くの障がい者施設が出店し、当日は天候が不安定でしたが、多くの来場者が訪れ、大変にぎわいました。初めてマルシェに参加する利用者も最初のうちは緊張していましたが、少しずつ声を出し、自信をもって接客することができました。天然酵母のパンはとても人気で、早い段階で完売することが出来ました。イベントを通じて多くの方と触れ合いながら利用者にとって様々な社会経験をえられる良い機会でした。

(山川)

**共同生活援助**(山形県コローニセンター
共同生活援助事業所)

「ハイツからグループホームへ」

「あつ南館グループホームに越して二年半過ぎたか。早いなあ。」二十年以上ハイツで生活していたので生活環境が変わることに不安を感じていましたが、世話人さんをはじめみなさんで掃除やゴミ出し等協力し合いながら、また手助けしてもらいながら楽しく生活しています。

グループホームで生活して一番助かっていることは何と言っても食事です。日曜日の夜と休日の夜も用意してくれます。現在はヨシケイさんのメニューでとてもおいしくです。誕生日にはケーキを用意してお祝いしてくれます。

また、ハイツと比べて自由時間があるので趣味に没頭しています。休日には、スポーツで汗をかいいたり、出かけたりと謳歌しています。

(南館GH 伊藤)

**就労移行支援・就労定着支援**

(山形コローニ就労サポートセンター)

「実際の仕事体験から、自分の働き方を考える」

就労サポートセンターでは、実際の職場で作業を行い、働く人たちとの交流をとおして、仕事のイメージが具体的に、主体的な職業選択のきっかけになる職場体験プログラムを用意しています。飲食店での調理補助・食器洗い、工場での部品製造、官公庁での事務補助業務、ビル清掃、物流倉庫でのピッキング作業、農作業など…。沢山の企業様から貴重な機会をいただき、就労サポートセンターメンバーは、この初夏の職場体験プログラムへ積極的に参加しています。企業側からのフィードバックを受けながら、働く人としての気づきを得て、ぐんぐんとステップアップ中です。

(大沼)

**障害者就業・生活支援センター**(村山障害者就業・生活支援センター
ワークライフサポートふうれ)令和7年度 在職者の会
「猿倉でジギスカンを食べよう」

村山障害者就業・生活支援センターふうれでは一般就労されている方の余暇支援の充実を目的とした外出等のイベントを定期的に開催しており、毎回大好評となっています。

今回はあいにくの雨の中ではありますが、蔵王の猿倉でジギマス釣りをした後、釣りたてのジギマスの塩焼きとジギスカンを食べました。

参加者の方からも「とてもおいしい」「楽しかった」と感想をいただきました。

(伊沢)



仲間たちのこえ



「家での僕の役割」

シード山形
目黒 衛

僕は、中学生の時から階段そうじをしています。シードで上山市役所清掃に行かせていただいてから、上手になりたくて始めました。それから、ほかにも手伝いをしています。月曜日は、スーパーヘトレイやペットボトルのリサイクルに行っています。週末は簡単な料理を1品作るお手伝いをしています。おこづかいでキューピー3分クッキングのテキストを買って選んでいます。日曜日は、風呂掃除をしています。家族が喜んでくれると僕も嬉しくなります。



「最近の良かった出来事」

就労サポートセンター
S

私は、先日初めて烏帽子山公園に行きました。最初に行った所は赤湯龍上海に行つて、赤湯ラーメンを食べました。桜は三分咲きだったので満開の時に見たかった。猿回し公演を見てジャンプや棒の頂上まで登って逆立ちしたので凄かったです。



コミュニケーションの大切さ

A型事業部生産課
板坂 友昭

最近メディアで度々出てくる「〇〇ハラスメント」というワード。平成頃から聞かれた言葉でパワハラ、セクハラ、モラハラ等。最近ではアカハラ、カスハラ等次々と出てきてます。今の時代の若者たちは柔軟に対応出来ると思いますが、前の時代の人たちから見ると息苦しさを感じてしまうのは私だけかな？
確かに今では不適切な言動も昔は多くあったけど、活気があって人と人との信頼、コミュニケーションを大事にしていたように感じます。

シリーズ 人権を考える

グループホームと人権を考える

共同生活援助事業所 斉藤 寿

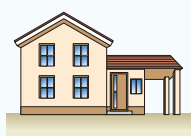
NO.5

グループホームとは、認知症の高齢者や障がいのある方が、少数で共同生活を送りながら、介護・生活支援を受ける施設です。特徴は、施設的ではなく家庭的な雰囲気の中で、可能な限り自立を支援するという点にあります。これにより、利用者は「される介護や支援」ではなく、「共に暮らす生活」を体験できます。しかし、近年、いくつかの悪質な事例が報告されています。

い劣悪な生活環境が報告されています。これらは自己表現が困難な利用者が多く、受け入れ先がなく声を上げにくい環境下で行われた深刻な人権侵害です。

食材費の過大徴収、衛生状態の著しい悪化、勤務実態のない職員の報酬水増しなどが去年大きく報道されました。この施設は、全国に系列施設を展開し、約3億円に上る不正収益をあげていたとされます。月の食費2万5千円を払っているにも関わらず「利用者1人の1日分の食費は1000円程度」部屋の中に簡易トイレを置き排泄物は放置されるなど、他にも複数の地域で職員による身体的・心理的虐待や、適切なケアが行われな

誰もが人として尊重され、地域で暮らす権利があります。グループホームは施設に閉じ込めるのではなく、地域社会の一員として暮らすことを支援する仕組みです。本人の意思や尊厳を大切にし、支援が必要な人を特別扱いするのでなく、支援する人とされる人の対等な関係を目指し、地域の中で自然に共に暮らすことが、よりよい社会につながるのだと思います。



地域交流活動

SOMPOケア山形桜田訪問介護
第2回子ども食堂&バザー開催！SOMPOケア山形桜田訪問介護
山川 由利子

5月24日(土)第二回子ども食堂&バザーを開催させていただきました。

地域のお子様から高齢者、障がいのある方を問わず色々な方が自由に集まれる居場所を作りたいと思い開催を始めました。

本来の子ども食堂とは違い、子どもさんと食事準備をし、子ども店員さんに配膳してもらい一緒に召し上がるという珍しいスタイルです。

今回も約50名の方にご参加頂き、喜んで頂けたことがとても嬉しく次回開催への意欲となっています。

また、同時にバザーも開催しておりとても好評です。収益金は地域の児童発達支援センターや放課後等デイサービス等に寄付させていただいております。

SOMPOケア山形桜田訪問介護山川様からご寄稿いただきました。ありがとうございます。



令和7年度 年間予定

令和7年	4月	1日	新年度辞令交付式	令和8年	9月	11日	第276回理事・監事会
			永年勤続表彰			20日	職員研修日
	24日	苦情直接受付(桜田南拠点)	10月		18日	地域交流会(桜田南拠点)	
		苦情解決合同会議			30日	総合防災訓練(桜田南拠点)	
	5月	2日	評議員選任解任委員会			31日	総合防災訓練(天童拠点)
		10日	職員研修		11月	8日	地域交流会(天童拠点)
	15日	総合防災訓練(桜田南拠点)			20日	苦情直接受付(桜田南拠点)	
		16日	総合防災訓練(天童拠点)				苦情解決合同会議
	22日	感染症対策委員会			27日	感染症対策委員会	
		29日	監事監査			29日	職員研修日
	6月	5日	第274回理事・監事会		12月	25日	第277回理事・監事会
		18日	福祉工場内エアコン設備設置工事入札				
	20日	第68回定時評議員会			1月	5日	年頭挨拶
		//	第275回理事・監事会			15日	苦情直接受付(天童拠点)
	25日	苦情直接受付(天童拠点)			2月	14日	職員研修日
		27日	検診車による健康診断			19日	感染症対策委員会
8月	21日	感染症対策委員会		26日	苦情直接受付(桜田南拠点)		
	28日	苦情解決合同委員会			苦情解決合同会議		
			3月	15日	第278回理事・監事会		



コロニーベーカリーでは、月に1回「天然酵母のパンセット」を特別セットプライス税込み1,000円にて販売しています。また、小学校や子供会等に人気の菓子パンセット税込み500円等、お得なパンセットをご用意しています。複数セットをまとめて発注いただくことも可能ですので、事前にコロニーセンターまでお問合せください。

お問い合わせ・注文先

山形県コロニーセンター
TEL 023-622-9755

編集後記

令和7年の春から新任職員も迎え、また新たな気持ちでスタートを切りました。

6月にはデジタル化のセレモニー、7月にはアビリンピックと続きました。夏の行事等、楽しいことが控えておりますが、熱中症に気を付けながら、今後も色々なことを皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。

(細合)



23号

2025. 7 July

2025年7月25日発行

■ 山形県コロニー協会

〒990-2322 山形県山形市桜田南1-19

TEL 023-641-7335 FAX 023-641-7368

発行責任者 須貝 壽一

<http://www.yamagata-colony.or.jp/>